

**商店が撤退し活力が失われてきている団地での宅配事業の成立と、コミュニティの活性化への貢献をめざして
原市団地(埼玉県上尾市)にて新たな拠点『くらしのプラットホーム』を開始
～3月9日(月)拠点からの個人宅配を開始、サロン機能の充実も～**

コープみらい(本部:埼玉県さいたま市、理事長:田井 修司、事業エリア:千葉県・埼玉県・東京都)は、埼玉県上尾市の原市団地において、高齢化団地での生活基盤の支援と地域コミュニティの活性化を目的とした『くらしのプラットホーム』を開始し、商店が撤退し活力が失われてきている団地での事業の成立とコミュニティの活性化への貢献を目指しています。事業の成立に向けた新たな取り組みとして、3月9日(月)から原市団地内に開設している「原市団地ステーション」を拠点にした新たな配送形態の個人宅配を開始します。また、あわせて、原市団地専用カタログの配布にも取り組みます。

『くらしのプラットホーム』は、「原市団地ステーション」を CSV 活動(社会問題の解決と企業の利益、競争力の向上を両立させる取り組み)の拠点として、住民の集いの場の役割を担う“サロン機能”と、宅配の充実を図る“事業の場”の2つを柱にコープみらいの事業と活動の総合力で進めていくものです。『くらしのプラットホーム』では団地自治会や行政、大学・専門学校、社会福祉協議会、UR 都市機構、地域包括支援センター、コープみらいおよび地域組合員が協力・連携して取り組みを行っています。

今回は今までに加えて以下の取り組みを進めます。

1. 団地外の配送センターから行っていた個人宅配を、原市団地ステーションからの配達に変更します。また、団地ステーションからの個人宅配にコープみらいとして初めての「リヤカー付き電動自転車」を導入します。これらを通して、配達の合理化を実現します。
2. 原市団地ステーションの営業をこれまでの月・水・金曜日の11時～17時までから、月曜日～金曜日の11時～19時に拡大することで、組合員の利便性の向上を図るとともに、商品の受け渡しをきっかけにつどいの場でのコミュニティ活性化への寄与を目指します。
3. 原市団地内専用カタログを導入し、人気商品44品目をお得な価格で提供します。
4. 自治会、行政、諸団体と連携してサロン機能、商品の販売や試食会・料理講習会などを充実していきます。また、子育て世代向け催しを実施するなど高齢者にとどまらず、幅広い年代のコミュニティ活性化に寄与します。

『くらしのプラットホーム』概要については、次項をご覧ください。



個人宅配で使用するリヤカー付き電動自転車

(「原市団地ステーション」を拠点に、団地内の個人宅配利用者宅へ商品をお届け)



団地内の空き商店を利用した、「原市団地ステーション」

－『くらしのプラットホーム』 概要－

◆「くらしのプラットホーム」コンセプト

生活支援の基盤と地域コミュニティの活性化を目的に、住民が集う場となる“サロン機能”と、宅配の充実を図る“事業の場”の2つの機能を持つ新拠点。原市団地自治会や行政、芝浦工業大学、上尾市医師会上尾看護専門学校、社会福祉協議会、UR都市機構、地域包括支援センター、コープみらいおよび地域組合員が協力・連携して社会問題を解決するCSV活動を『くらしのプラットホーム』を中心に展開。

◆主な実施計画

<事業の場>

・個人宅配の拡充

「原市団地ステーション」を拠点に、月～金曜日の中から好きな配達曜日をお選びいただき、注文商品をリヤカー付き電動自転車でご自宅までお届けする新たな個人宅配サービス。

・「原市団地ステーション」での商品受け取り時間の拡大

注文商品を「原市団地ステーション」で受け取る従来のサービスの利用時間帯を拡大。月～金の11時～19時まで商品受け取りが可能に。

・人気商品を集めた専用カタログを配布

従来の注文用紙に注文番号を記入して注文する方法のほか、人気商品44品をお得な価格で提供する、原市団地専用のカタログを導入。

<サロン機能(一例)>

・お茶を飲みながら住民同士が交流できる場

「原市団地ステーション」内には住民が気軽に集い、お茶やコーヒーなどを飲みながらおしゃべりできるスペースを設置。自宅から外出するきっかけづくりにもなっています。

・商品の販売や試食会・料理講習会の実施

常温食品や日用品などコープ商品や生花の常時販売のほか、地域の組合員が中心になってコープ商品の試食会や料理講習会を定期的に行っています。

・「親子ひろば」

子育て中の皆さんが自由に集まって、おしゃべりしたり、子どもを遊ばせたりできる場を定期的に行います。地域の組合員が中心となって運営しています。



住民同士の交流スペース

<その他の取り組み>

・夕食宅配の推進

主に高齢者の方を対象に、夕食用弁当を宅配する「コープデリの夕食宅配」やお惣菜などの商品と一緒にお届けする「おうちデリカ」などのサービスを推進します。

－ 原市団地 概要 －

高度経済成長とともに1966年に入居が始まった大規模団地です。当時は、団地内および周辺には商店街が生まれ、児童・学校の設置など、大きなコミュニティを形成しましたが、現在は、世帯数の減少と住民の高齢化が進行しておりコミュニティの活性化が課題となっております。

【所在地】 埼玉県上尾市 3336

【総戸数/入居人口】 1,582 戸/3,034 人

【65歳以上高齢者割合】 約 45% ※数値はいずれも平成24年時点

《生活協同組合コープみらい 概要》

ちばコープ、さいたまコープ、コープとうきょうは組織合同(合併)し、「コープみらい」になりました

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5

【理 事 長】 田井 修司(たい しゅうじ)

【組 合 員 数】 316 万人 (2014年2月20日現在)

【総 事 業 高】 3,629 億円 (2013年度)

【事業エリア】 千葉県、埼玉県、東京都

【ホームページ】 <http://mirai.coopnet.or.jp/>